

世界結核議連 結核に関する国連ハイレベル会合に対するポジションペーパー

序 文：

我々、世界各国から選出された代表者および世界結核議連のメンバーは、結核における国連総会ハイレベル会合に備えて、結核は、持続可能な開発目標（SDG）と2030年目標の主要素であり、UHC提供の要石となることを認識しつつ、世界的な結核流行の終息への関与を再確認し、薬剤耐性菌と闘い、HIVによる死亡をなくし、非伝染性疾患（NCD）の危機に対処する。我々は、各国首脳ならびに政府に対して、以下のような目的のために、ハイレベル会合に出席することを求める：ⁱ

1. 結核は1993年に緊急事態が宣言されて以来、5000万人の死亡原因となっている世界で最も長く継続している世界的な健康緊急事態であり、世界でトップクラスの感染症であり続け、社会経済的に大きな影響を及ぼしていること；多剤耐性結核の毎年の症例数は、他のすべての空気伝染する薬剤耐性による感染症よりも多いこと；子供の10大死因の1つであること；すべての結核患者のうち40%は、診断、治療の有無の報告がなされておらず、これはこの疾病を克服する上で大きな障害となっていること、以上を認識する。ⁱⁱ
2. 地域社会と市民社会が、結核ケア・予防のあらゆる側面で差別的ではない方法で関与することは、結核の終息、それによるSDGsを達成するために不可欠であることを認識する。ⁱⁱⁱ

診断、治療、予防の溝を埋め、全ての人々の手に届くようにするために、

3. 誰も取り残さないことを確実に実施するため、特に主要な脆弱な人々へ焦点を置いた結核の予防、診断、治療にむけた新たな努力を約束する。それによりグローバル・コミュニティとして、また各国において、2030年までに結核を終息させるとする持続可能な開発目標が達成される。更に各国における結核患者の診断と治療を強化し、2022年までに世界の結核負担に見合った4,000万人の患者を治癒させる。^{iv}
4. あらゆるレベルで、そして公的、私的保健サービスにおいて、結核問題の追跡と対策を強化するために、データ収集とサーベイランス計画の向上に投資することを約束する。さらに、その情報を世界保健機関（WHO）および関連するすべての関係者にリアルタイムに利用可能かつ透明化することを約束する。^v

結核対策を平等、権利に基づいた人間を中心としたものに転換するために、

5. 2022年までに、全ての結核患者に対して安全で効果的な人間中心のケアの利用を確保し、結核と診断されたことが破滅的な経済負担を起こさないよう、すべての必要な援助を提供しつつ、国際的に承認されたすべての結核のケア、診断、予防のための基準とガイドラインを採用し、実施することを約束する。そしてさらに結核に関する偏見と差別を減らすため、すべての必要な方策を講じることを目指す。
6. 結核予防、治療およびケアへのアクセスを阻害する国の法的環境やその他の障壁の評価を実施し、結果を公表すること、結核になった移住者の強制退去や結核患者の強制収監を容認する法令を2020

年までに見直すこと、差別から結核患者を保護する法律を制定すること、そして世界人権宣言およびその他の国際協定に盛り込まれている結核患者および罹患の危険にさらされている人、結核の影響を受ける人々の人権の保護と推進が、すべての結核対策とプログラムに主流になるべきことを確認すること、これらを約束する。^{viii}

結核終息に不可欠な新しいツールの開発を加速するために、

7. 各国は基礎研究から製品開発、オペレーショナルリサーチに至るまで、結核にかかる全方位的な研究に対する年間13億ドルの資金欠損を公正な分配をもって投資することを約束する。さらに、必要に応じて、革新的な資金調達メカニズムや研究開発の新モデルの開発を通じて、国家間の研究開発の協力と調整を強化することを約束する。^{viii}
8. 革新的な科学技術の便益は、迅速に平等にアクセス可能とするべきであり、知的財産権や経費が、現代的で最新の高品質の診断、治療、予防技術へのアクセスと入手の障壁であってはならないこと、そして新しいツールの導入と実施を迅速にするために、規制の道筋を調和させるべく、すべての措置を講じる必要があることを確認する。^{ix}

結核終息に必要な資金を投資するために、

9. 診断と予防のスケールアップのための完全な原価計算を含む、政治宣言の目標の実施概要にかかる多部門間国家戦略計画を改訂または策定することを約束する。さらに、結核対策にかかる現在の資金調達額を年間130億ドルに倍増することを誓約し、各国は、世界的な結核流行との資金負担能力に応じた公平な分担に比例して貢献し、必要に応じて、民間セクターから追加的に資金を動員し、関連する国連機関、世界銀行、地域開発基金、世界エイズ・結核・マラリア対策基金の増資に支援する。^x

国連への定期的な報告、見直しを含む、決断力と責任あるグローバルリーダーシップにコミットするために、

10. 結核対策の進捗を監視、評価するために、2018年以降の地域首脳会議の議題に結核を含むことを約束する。加盟国は、WHOおよびストップTBパートナーシップの支援のもと国連事務総長に対して、結核に関するハイレベル会合の政治宣言でなされた誓約の実現の実績に関する年次報告および2030年までの結核終息というSDG目標にむけた加盟国の全般的な成果を国連総会において行うよう要請する。最後に、これらの誓約は、次期結核に関する国連総会ハイレベル会合において2023年までに見直しされる。^x

¹ References include: General Assembly resolutions A/RES/70/1 (Sustainable Development Goals), A/RES/67/81 (Universal Health Coverage), A/RES/71/3 (Antimicrobial Resistance), A/RES/70/266 (HIV), A/RES/66/2 and A/RES/68/300 (Non-Communicable Diseases).

² Data taken from World Health Organization Global TB Report 2017, more than 2 million people a year have died from TB on average since 2000, projected back to 1993 makes a total of 50 million.

³ Language drawn from the Moscow Declaration to End TB.

⁴ This is an articulation of the targets outlined in the 2016 HIV Declaration and the Moscow Declaration, both which stem from the Stop TB Partnership's Global Plan to End TB 2016-2020. The original percentage figure has been articulated as a number, and was announced as a campaign by the Director General of the World Health Organization at the Delhi TB Summit in March 2018. Target date has been set at 2023 instead of 2020 to give countries more time to scale-up and represents the half-way mark towards the SDGs.

⁵ Data commitments are found in HIV and NCD Declarations and the Moscow Declaration. Investments in data are also considered key to the achievement of the SDGs.

⁶ These commitments echo the Moscow Declaration and the End TB Strategy. The commitment to conduct legal assessment is similar to the most recent HIV HLM Declaration.

⁷ Commitments to human rights are a common theme in previous HIV HLM Declarations.

⁸ Similar to the Moscow Declaration and the G20 Hamburg Communique.

⁹ Similar to agreed language in the HIV Declarations, and the AMR Declaration in 2016.

¹⁰ Financing commitments reflect Moscow Declaration, End TB Strategy, Global Plan to End TB, and a range of other internationally agreed Declarations and commitments.

¹¹ UN reporting is a standard feature of all High-Level Meeting Declarations, as is the provision for a follow-up HLM. Reference to regional Head of State meetings reflects the need for continued Head of State focus on the disease.

4月25日 世界結核議連国連ハイレベル会合に向けた議員諮問会合で発表